

クマによる人身被害調査報告書

事故概要		みなかみ町高日向の林縁部の町道で、犬を連れて散歩中の女性がクマに襲われ負傷した。
発生日	日時	令和7年10月18日（土）16時05分頃
	天候	晴れ
発生場所	住所	みなかみ町高日向 189 付近の町道
	環境	林縁・住宅地・道路
	山／里の別	里
被害者	年代・性別	76歳 女性
	被害状況	中等症（頭部陥没骨折で15針縫合、左頸部・背中・臀部に裂傷）
加害個体	頭数	1頭
	大きさ等	体長約1.0m強（若い個体の可能性）
事故状況		（事故の目撃者からの聞取り）被害者は近隣住民の飼い犬とともに林縁の町道を南へ歩いていたが、しばらくして女性の叫び声が聞こえ、犬が北方向（後方）へ逃げていき、クマが犬の後を追いかけていき、被害者に接近したところで襲われ、路面に倒された後に肩と臀部を咬まれ負傷した。目撃者が、大声で威嚇しながら駆け寄り、クマを追い払ったところ、東側の藪へ逃走した。被害者は救急搬送された。
事故の原因・考察		現場周辺の林縁には放棄された力木の木が複数確認され、過去にもクマやサルが頻繁に出没し、クマ避けの警鐘が常設されている場所である。放棄果樹（力木、クリ）には、クマが餌付いていた可能性があり、人の活動域へ入りやすい状況が生じていたと考えられる。このような環境を夕暮れ時に犬を連れて散歩し、クマと至近距離で偶発的に遭遇し、さらに、犬の存在や吠え声がクマを刺激してしまった可能性がある。
考えられる改善点		（1）被害者側の対策 犬を連れて散歩する際には、野生動物に向かって犬が吠えることにより、刺激してしまい襲われるリスクについて知ることが重要である。また、クマの出没情報を事前に確認し、林縁部など危険な場所の利用を避けることが望ましい。散歩時には鈴や音の出る道具を携行し、ク

マに人の存在を知らせる工夫をすることも有効である。

（2）行政側の対策

・犬が吠えることにより野生動物を刺激するリスク、クマが出没している地域の散歩を避けること等、対策方法を掲載したチラシ等により、自治体における狂犬病予防ワクチン接種の際などに飼い主に対して注意喚起を行う。

・未利用の放棄果樹は伐採を指導し、収穫し利用している果樹は、電気柵を設置するか、幹にトタンを巻いてクマが登ることができないよう対策を指導する。

・警鐘は、クマとの偶発的な遭遇の回避につながり、出没地点や通学路など人の往来がある場所、今回のような林縁部の道や林を横断する道などについても、人身事故対策として設置することが望ましい。

・住民向けクマの学習会を開催し、散歩中など、人の日常生活における場面ごとの効果的な対処法や、発生が予想される事例などを周知することで、同様の事故の未然防止につなげる。